

櫻坂を緩歩中

広域通信制高校 月1回登校コースのからくり

今や日本の高校生の10人に1人が進学する広域通信制高校ですが、学校によって大きく教育方針や特色が異なります。(進路通信第9号=4月21日発行参照)

そこで、広域通信制高校への進学を希望している生徒は、ぜひ学校説明会等に参加されることをおすすめします。(高校によっては、学校説明会に参加することが出願条件になっていることもあります。)参加する際に確認してきた方がよいことを1点、「月1回登校コースのからくり」とともに記します。

高校では、「理科」は必履修教科になっており4単位(履修の仕方によっては6単位)を履修しなければ卒業できません。これは、公立高校、私立高校、工業高校、商業高校、全日制高校、定時制高校、通信制高校……、日本全国どこの高校へ進学しても同じ条件です。

では、全日制高校で4単位を修得するためにはどうすればよいのでしょうか。

週4時間(1時間は50分)の授業を1年間履修し、(定期)テストにおいて、いわゆる赤点以上の得点をとると4単位を修得することができます。

一方、通信制高校で4単位を修得する条件は下記の通りです。

50分のスクーリング授業を4時間履修し、12通程度のレポートを提出し、単位認定試験に合格すると4単位を修得することができます。

全日制高校では毎週4時間の授業を受けなければならないのに対し、通信制高校では年間で4時間の授業を受けるだけでよいのです。ここで、ポイントとなるのは進学する広域通信制高校が『**一(1)条校**』かどうかという問題です。学校教育法の第一条の条文は下記の通りです。

第一条 この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

この法律により栄南中学校は「一条校」となります。また、飛鳥未来高校などの広域通信制高校も「一条校」となるのですが、高校によっては、高校自体は「一条校」なのですが、札幌キャンパスの校舎は「一条校」として認められていないという場合があります。こうした場合、スクーリング授業は、「一条校」として認められている本校へ行って履修しなければならないのです。

ちなみに飛鳥未来高校札幌キャンパスは、高校自体も札幌キャンパスの校舎も「一条校」となっているため、毎日のようにスクーリング授業が開講されています。そのため、4月は月1回、●日に登校し理科4単位、5月は月1回、■日に登校し数学3単位を修得するといった履修が可能となるのです。

反対に高校自体は「一条校」になっているものの校舎は「一条校」になっていない高校の場合、年に3泊4日程度、「宿泊学習」等と称して、本校へ行き、集中してスクーリング授業を受けることとなるのです。

広域通信制高校の進路説明会に行かれましたら、ぜひ校舎（札幌キャンパス）も「一条校」として認められているかどうかを確認されることをおすすめします。

【札幌ビューティックアカデミー】＝学校案内プリント

本日、札幌ビューティックアカデミーの学校案内プリントを配布しました。
プリントには、5月10日（土）等開催されるオープンキャンパスについて記されております。

オープンキャンパスの参加希望者は①メール、②電話にて各自で申し込みください。
(中学校への連絡は不要です。)

●公立高校全日制普通科の学区外の推薦受検はできません。

学区外の公立高校全日制普通科を一般受検する場合、募集定員に枠がもうけられるといった入学制限がかかります。(ただし、受検は可能です。)

しかし、学区外の公立高校全日制普通科の推薦受検はできませんのでお知りおきください。

【推薦受検できる例】

北海道美唄聖華高校（普通科ではない衛生看護科のため、全道学区となり推薦受検可能）
北海道奥尻高校（普通科であるが、全国学区のため推薦受検可能）

【推薦受検できない例】

北海道小樽桜陽高校（一般受検は可能ですが、普通科で後志学区のため推薦受検は不可能）

☺coffee break 矛盾した一言

- ・ 半チャーハンの大盛りください。
- ・ 我慢大会があると聞き、我慢できずにやって来ました。
- ・ 絶対ということは、絶対にないからな。
- ・ 左に右折してください。
- ・ 動くな、手をあげろ。
- ・ 後で、早速やってみます。
- ・ 自粛を要請します。
- ・ 電柱に「ここに張り紙はしないでください。」という張り紙。
- ・ ちょっとかなり多いです。
- ・ 「一度きりの人生、後悔しないように。」私は生まれ変わってもそんな生き方をしたい。
- ・ トムとジェリー、仲良く喧嘩しな。
- ・ 恋をすることは苦しむことだ。苦しみたくないなら、恋をしてはいけない。でも、そうすると、恋をしていないということでもた苦しむことになる。
- ・ 稀（まれ）によくあるのですよ。
- ・ 僕の友だちは、友だちがいないそう。
- ・ 想定外を想定して動きなさい。